

10月31日
大切な川を理解してほしい
小学生が釧路川改修工事現場を見学



川岸の高さを測量する児童
小学生による釧路川改修工事現場の見学会が10月31日、釧路川の摩周大橋近くで行われました。同工事の河道整備などを担当する辻谷建設(辻谷智之代表取締役)の皆さんが、子どもたちに川の重要性を理解してほしいと、社会貢献活動の一環として昨年度から行っているもの。弟子屈小学校の5年生が参加しました。児童は、説明を受けながら工事現場を見学。その後4班に分かれて、油圧式ショベルカー乗車や汚濁処理、測量、コンクリート作りといった現場作業を体験しました。

10月30日
文化活動を通して北海道に貢献
写真家の水越さんに北海道文化賞



フリーの写真家・水越武さん(屈斜路)が、今年度の北海道文化賞を受賞しました。10月30日には徳永町長がお祝いに駆けつけ、花束を手渡しました。同賞は、北海道の文化の向上・発達に功績の顕著な方を顕彰することで、文化の普及・振興を図る目的で毎年行われていて、道に貢献した活動歴が概ね20年以上の方が表彰されます。世界的にも活躍する水越さんは、地球の生態に対する慈しみや危機感をテーマに撮影。1988(昭和63)年に本町に移住後は、道内の自然を取り上げた作品を多数発表しています。

10月25日
もっと路線バスの活用を
川湯地区で「バスに乗ろう会」



バス(の乗り方)を学ぶ参加者
弟子屈町地域公共交通活性化協議会(会長・徳永町長)では10月25日、川湯地区の住民の方を対象に、バスの乗車体験や路線バスに関する意見交換を行う「バスに乗ろう会」を開催しました。約20人が参加。川湯バスターミナルでバスの乗り方教室を行った後、郵便局前と川湯温泉駅前をバスで往復しました。乗車後は川湯ふるさと館で意見交換会を開催。町内路線バスの運行状況やコースなどが説明され、参加者の皆さんからは「高齢者にバスは不可欠」「路線の存続を」などの意見が出されました。

カメラスケッチ
広報マンが行く!!



このページは皆さんからの情報で作られています。どのような情報でもすぐにかかけます。お気軽にご連絡ください。
まちづくり政策課政策調整係 ☎ 4 8 2 - 2 9 1 3 (課直通)

11月5日
陶芸を通して思い出づくり
弟中と川中の3年生が摩周焼を体験



森先生のアドバイスを受けながら
弟子屈中学校(坂東薫校長)と川湯中学校(辻川尚志校長)の3年生70人が11月5日、摩周焼体験学習を行いました。総合的な学習の一環として毎年行われているもの。郷土を代表する工芸の一つである摩周焼の制作を通して、思い出づくり、郷土を愛する心を育てることが目的です。摩周焼窯元の森雅子さん(奥春別)を講師に招き、森さんとそのお弟子さんたちの協力の下、多目的カップ作りに挑戦しました。作品は、12月中旬から公民館で展示される予定です。

11月1日～
道の駅摩周温泉でさまざまな企画展
摩周焼陶芸教室の作品や短歌、写真を展示



力作ぞろいの摩周焼陶芸教室展
道の駅摩周温泉1階の展示ギャラリーで、11月1日から摩周焼陶芸教室の皆さんの作品展が始まりました。摩周焼窯元の森雅子さんの指導のもと、陶芸に取り組んでいる8人の作品143点が展示されています。また、1階町民ギャラリーでは弟子屈短歌会の皆さんによる作品展、2階では町内在住の写真家・田澤淳子さんの写真展「鏡花水月～道東のささやき～」も開催中です。いずれも12月末までとなっていますので、一度ご覧になってみませんか。

10月26日
はしご車って高いんだね
防火フェスティバルで多彩な催しを楽しむ



子どもたちに人気のはしご車乗車体験
第21回防火フェスティバル(同実行委員会・弟子屈消防署・弟子屈消防団主催)が10月26日、弟子屈消防署で行われました。秋の火災予防運動の一環で、地域の方に対する同運動の周知と防災意識の高揚などを目的に毎年開催されています。会場では屈折はしご車の乗車体験や放水体験、応急手当体験などが行われたほか、大声コンテストやホース巻き競争、消防戦隊タスケルンジャーショーなど多彩な催しが用意され、親子連れや子どもたちでにぎわいました。

10月25日
いつも美留和駅をきれいにしてくれてありがとう
美留和小学校にJR北海道から感謝状



大江支社長と廣瀬駅長と全校児童
美留和小学校(梅津和広校長)の皆さんに、JR北海道から感謝状が贈られました。贈呈式は10月25日、同校で行われ、同社の大江秀雄釧路支社長と廣瀬二摩周駅長から、児童会長の阿部宏紀君(5年)に感謝状と記念品が手渡されました。同校では1996年、美留和駅の清掃と花壇整備を開始し、現在まで継続。年に2回、駅と周辺を清掃するほか、児童が育てた花をプランターで飾るなどの活動を行っていて、2000年、2007年にも同社の釧路支社から感謝状が贈られています。

11月7日
おじいちゃん・おばあちゃん元気になってね
おひさま保育園児が厚生病院を慰問



弟子屈音頭に目を細める患者さんたち
おひさま保育園(清水節子園長)の年長・年中児が11月7日、摩周厚生病院を慰問しました。入院患者さんに喜んでほしいと、この時期に毎年行っています。入院中のお年寄りなどを前に「よっちょれ」と「弟子屈音頭」を元気いっぱい披露した園児たちに、たくさんの拍手が送られました。患者さんは「とてもかわかった」と、うれしそうに話していました。

11月7日
これからも安全運転を心掛けて
町内での交通死亡事故ゼロ300日達成



村岡会長(左)と小林署長
町内での交通死亡事故ゼロが10月19日、300日を達成し、一般社団法人釧路交通安全協会(安藤純博会長)から弟子屈交通安全協会に記念の盾が贈られました。伝達式は11月7日、弟子屈警察署で行われ、小林順也同署長から同協会の村岡幸雄会長に盾が手渡されました。町内での交通死亡事故は、昨年の12月23日、朝日3丁目の国道243号で発生して以来、現在まで発生していません。村岡会長は「これからも関係者一丸となって、死亡事故ゼロが続くように頑張っていきたい」と話していました。

10月30日
道社会貢献賞と経済産業省所管調査功績者表彰
長く統計調査に貢献した館さんがダブル受賞



賞状を受け取る館さん(左)
館昭子さん(中央2)が、今年度の北海道社会貢献賞(統計功労)と経済産業省所管調査功績者表彰を受賞しました。伝達式は10月30日、役場で行われ、徳永町長から館さんに賞状と記念品が手渡されました。館さんは1977(昭和52)年に全国物価統計調査の統計調査員に任命されて以来、工業統計調査を中心に30年にわたり統計調査員として活躍。2010年の国勢調査では、指導員として調査員の指導に当たるなど、長く統計調査に貢献してきました。館さんは「協力してくれる町民の皆さんと家族のおかげで長く続けてこられた」と話していました。

10月27日
登山シーズンの終わりを迎え
パークボランティアが藻琴山登山道のロープを撤去



荒天の中、手際よくロープを撤去
川湯エコミュージアムセンターを拠点に自然保護活動を行っている摩周・屈斜路パークボランティアの皆さんと環境省は、10月27日に藻琴山登山道のロープ撤去を行いました。ロープは、登山シーズン初めに、危険な場所や植生の保護のために張ったものです。10日ほど前に初冠雪した際の雪がまだ残り、強風が吹くという厳しい天候でしたが、手際よく作業が進められました。この日も、登山を楽しむ人の姿が多く見られ、ボランティアの皆さんは「何よりも安全を第一に、気持ちの良い時間を過ごしてほしい」と話していました。